

桐生繊維業界の実態

令和2年1月～令和2年12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、令和2年1月～令和2年12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、起龍については、組合員重複により調査対象外としております。）

また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数		10 団体	
2. 産地収入			
(1)生産高	48 億	9,540 万円	
(2)加工高	12 億	4,992 万円	
(3)販売高	51 億	7,183 万円	
	計 113 億	1,715 万円	
退会団体の収入(推定:前年対比88%)	13 億	4,937 万円	
	計 126 億	6,652 万円	(前年対比 88%)
3. 組合員数(事業所数)		181 事業所	
4. 総従業員数(家族従業員含む)		1302 人	
5. 一事業所当たり従業員数		7 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高		6,253 万円	
7. 年度別産地収入高			
平成 12年 産地収入	444 億	7,222 万円	(前年対比 94%)
平成 13年 産地収入	416 億	8,724 万円	(前年対比 94%)
平成 14年 産地収入	376 億	2,047 万円	(前年対比 90%)
平成 15年 産地収入	346 億	0,005 万円	(前年対比 92%)
平成 16年 産地収入	453 億	8,571 万円	(前年対比131%)
平成 17年 産地収入	436 億	5,236 万円	(前年対比 96%)
平成 18年 産地収入	397 億	4,442 万円	(前年対比 91%)
平成 19年 産地収入	375 億	4,078 万円	(前年対比 94%)
平成 20年 産地収入	318 億	2,356 万円	(前年対比 85%)
平成 21年 産地収入	287 億	2,461 万円	(前年対比 90%)
平成 22年 産地収入	257 億	4,424 万円	(前年対比 90%)
平成 23年 産地収入	258 億	0,221 万円	(前年対比100%)
平成 24年 産地収入	257 億	5,924 万円	(前年対比100%)
平成 25年 産地収入	261 億	8,835 万円	(前年対比102%)
平成 26年 産地収入	254 億	1,823 万円	(前年対比 97%)
平成 27年 産地収入	218 億	6,296 万円	(前年対比 86%)
平成 28年 産地収入	166 億	0,011 万円	(前年対比 76%)
平成 29年 産地収入	154 億	2,194 万円	(前年対比 93%)
平成 30年 産地収入	149 億	3,836 万円	(前年対比 97%)
平成 31年 産地収入	144 億	5,759 万円	(前年対比 97%)

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数				従業員 平均年齢 (歳)	
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)			計 (人)
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	41	86	79	52	44	261	55
	内地協議会	40	57	69	47	38	211	59
桐生染色組合		12	103	59	4	4	170	50
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		10	32	95	5	8	140	48
桐生系商組合		7	19	7	2	6	34	46
桐生刺繍商工業協同組合		41	70	108	62	64	304	58
東日本編レース工業組合		4	42	25	3	2	72	51
桐生紋紙組合		8	3	0	3	1	7	65
東毛ジャカード刺繍協同組合		6	3	6	6	6	21	61
桐生織物商友会		7	19	14	1	7	41	55
桐生テキスタイル商業グループ		5	22	14	1	4	41	53
合計		181	456	476	186	184	1,302	

注

- (1) 平成 7 年 1 月 13 日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7 年 5 月 17 日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成21年 3月31日 桐生和服裁縫組合 退会。
- (10) 平成28年 3月30日 桐生意匠組合 退会。
- (11) 平成31年 3月31日 桐生織物産地元売組合 退会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	166,900	12,793	179,693	71	0	100
	内地協議会	39,183	-	39,183	53	0	100
桐生染色組合		-	34,000	34,000	100	30	70
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		116,176	47,394	163,570	128	22	78
桐生刺繍商工業協同組合		18,600	30,200	48,800	70	40	60
東日本編レース工業組合		136,654	-	136,654	94	11	89
桐生紋紙組合		2,600	-	2,600	80	85	15
東毛ジャカード刺繍協同組合		9,427	605	10,032	97	2	98
合 計		489,540	124,992	614,532	85	14	86

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生糸商組合	298,000	92	65	35
桐生織物商友会	133,000	106	15	85
桐生テキスタイル商業グループ	86,183	70	1	99
合 計	517,183	90	41	59

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	168,137	94	11,556	6	179,693
	内地協議会	39,183	100	-	-	39,183
桐生染色組合		34,000	100	-	-	34,000
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		158,663	97	4,907	3	163,570
桐生糸商組合		271,000	91	27,000	9	298,000
桐生刺繍商工業協同組合		48,800	100	-	-	48,800
東日本編レース工業組合		136,274	99.7	380	0.3	136,654
桐生紋紙組合		2,600	100	-	-	2,600
東毛ジャカード刺繍協同組合		10,032	100	-	-	10,032
桐生織物商友会		133,000	100	-	-	133,000
桐生テキスタイル商業グループ		77,565	90	8,618	10	86,183
合計		1,079,254	95	52,461	5	1,131,715

5. 各団体の取扱品目

団体名		品 目				
		割 合 (%)				
桐生織物協同組合	広幅協議会	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
		84	2	9	5	
	内地協議会	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
		43	33	15	9	
桐生染色組合		合織	再生繊維	絹	綿・ウール	
		75	10	5	10	
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
		12	13	2	3	70
桐生糸商組合		ポリエステル	アクリル	ナイロン	レーヨン	絹・綿・その他
		40	15	15	3	27
桐生刺繍商工業協同組合		婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
		10	10	22	10	48
東日本編レース工業組合		インテリア	産業資材	衣料		
		65	23	12		
桐生紋紙組合		エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
		25	60	15		
東毛ジャカード刺繍協同組合		ワッペン	Tシャツ	ワッペン・刺繍	その他の布帛	プリント加工
		82	2	11	4	1
桐生織物商友会		二次製品	和装小物	帯	着尺	その他
		85	5	3	1	6
桐生テキスタイル商業グループ		服地	ニット	その他		
		65	34	1		

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名		設備名	数量(台)
桐生織物協同組合	広幅協議会	普通織機	54
		自動織機(片レピア含)	128
		超自動織機(レピア)	324
		計	506
	内地協議会	広幅織機	6
		並幅織機	238
		小幅織機	36
		自動・レピア織機	40
		計	320
桐生染色組合	常圧噴射式染色機	50	
	高圧噴射式染色機	5	
	汎用染色機	5	
	チーズ染色機	30	
	高圧液流染色機	30	
	計	120	
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)	ミシン(特殊含)	90	
	プレス	3	
	裁断機	3	
	その他	55	
	計	151	
桐生刺繍商工業協同組合	横振ミシン	40	
	多頭式ミシン	350	
	計	390	
東日本編レース工業組合	ラッセル機	99	
	計	99	
桐生紋紙組合	デザインシステム	13	
	横彫カード・エンドレス	7	
	カードパンチ	6	
	ワンパンチ	2	
	計	28	
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターミシン	12	
	プレス	2	
	本縫いミシン及びその他の機械	12	
	パンチング製版機及びプリント機	3	
	計	29	

7. 最近の推移（R2年10月～R3年2月）

団体名		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変らず	下降	前年対比 （％）	増	変らず	下降	前年対比 （％）
桐生織物協同組合	広幅協議会			○	71		○		100
	内地協議会			○	53		○		100
桐生染色組合				○	70		○		100
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)				○	90			○	90
桐生糸商組合				○	80		○		100
桐生刺繍商工業協同組合				○	70			○	70
東日本編レース工業組合			○		100		○		100
桐生紋紙組合				○	80		○		100
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	97		○		100
桐生織物商友会		○			106		○		100
桐生テキスタイル商業グループ				○	70		○		100
合計		1	1	9		0	9	2	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、令和2年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 洋装部門の国内向けニーズは、新型コロナウイルスによる活動自粛など影響が大きい。服地の受注は最小限に抑えられ、年末にかけての感染拡大の影響もみられるなど、先行きが見通せない。
輸出についても、欧州でのロックダウンによる経済活動の停止など影響が大きい。比較的早期に感染を抑え込み、経済活動を再開している中国市場では回復の兆しもみられる。
- ・ 和装部門については、昨今の台風や豪雨の影響で夏物製品の需要が減少傾向にあったが、さらに新型コロナウイルスにより、祭り等の行事がなくなり消費者のニーズは極端に冷え込んでいる。
また、カジュアル指向の絹製品も同様に、必要性の減少と販売の機会が失われているなど、多くの製品がコロナ禍により消費者ニーズは極端に減少している。
しかしながら、フォーマルでは、比較的コロナの影響が少ないとされる七五三関連の製品については、その減少幅はわずかながら少ない。

令和2年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 洋装部門として、東京で10月に桐生テキスタイルコレクション 2021AWを開催。
また、11月にはJFW ジャパンクリエイションへの出展をした。
輸出向けとして、7月にミラノで開催される予定だったミラノウニカは中止となった。
地域団体商標「桐生織」の海外展開事業を実施し、デザイナーとのコラボレーションや海外向けWEBサイト、SNSなどを通じてKIRYU textile ブランドのPRを行った。
- ・ 和装部門については、生活スタイルの変化による和装離れと、流通の弱体化による影響は依然として大きく、さらに、ここ数年間続いている台風などの自然災害に加え、新型コロナウイルスの影響により、関連する全ての商品の動きが鈍かった。
この状況に対応するため、歴史ある産地・信頼のもてるメーカーを市場にアピールすることを目的に、コロナ禍のなか、計画していた新製品の開発事業や東京・京都等の集散地で開催する販路の開拓事業などの事業を積極的に展開した。

今後の課題

- ・ 洋装部門として、独自性のある付加価値の高い織物の開発を継続していくとともに、多様化する市場ニーズに対応し、新たなターゲットに対してもアプローチしていく事が必要だと考えられる。
- ・ 和装部門については、以前から問題となっている和装離れの歯止めや、消費者の業界に対する不信感の払拭のためのモラルの確立や商習慣の改善、織機等の部品の枯渇問題や関連工程の技術者不足など課題は少なくなかったが、さらに新型コロナウイルスによる影響への対策や、コロナ後に備えた商品作りなど、課題は多くなるばかりである。

桐生染色組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ コロナ感染症の関係で全体に不調。

令和2年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、すべての組合事業所で大きな影響を受けている。
- ・ 受注の大幅な減少、売上の減少など。

例として・衣料用、資材用レース関係では前年比(推定) 50% Down

- ・ ポリエステル、アクリル等の合繊では前年比(推定) 30%～40% Down
- ・ 産地もの衣料、服地関係では前年比(推定) 30%～40% Down
- ・ 刺繍糸関係では前年比(推定) 40%～50% Down
- ・ 産業資材関係では前年比(推定) 30%～40% Down

今後の課題

- ・ 昨年来の染料・助剤のコストアップは一段落したが、コロナの関係での大幅な売上減となっていて、会社存亡の危機の状態。国・行政の特段の支援が必要。

桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ コロナ禍の中でアパレルEC市場規模は増え、今後更に規模拡大する。益々グローバルな市場への対応が求められる。

令和2年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 世界的なパンデミックの中で、物・人の動きが止まってしまった中、当組合事業の中心である外国人技能実習生事業は大変厳しい状況であったが、新たに特定技能者の支援・サポートを目的とした登録支援機関の登録を申請許可されスタートをした。

今後の課題

- ・ 既存の仕事にとらわれず、新しい取り組み、仕事の模索が急務となっている。当組合としては今後予想される労働力不足の部分も登録支援機関としてサポートをしていく。課題としては特定技能の受け入れ可能職種が、外国人技能実習生受け入れ職種とのマッチングが悪すぎる点である。

桐生糸商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 此の期間については、国内向け生産にコロナ禍の影響が大きく反映していると思われる。原糸価格は殆ど変化が無いが、特殊糸に拠っては反って上昇している物も有り、平均すれば平均単価は変わっていない。

令和2年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 此の一年は1月～4月の4ヶ月は、ほぼ順調に推移したが、5月以後はコロナ禍の影響を受け、全体的に落ち込んだ。特に服地・内需向け雑品の多くが低迷した。コロナウィルス対応品も後半期あったが、下降の流れを止める程では無かった。

今後の課題

- ・ 社会の情勢の変化は、近年特に激しさを増している。これに対応して行くには、昔から言われている「知恵と工夫」が必要であると思われる。従来の考えに囚われず、新しい感覚で判断・行動出来るかどうか、分岐点となる。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 販売形態が店頭からネット販売に比重が移りつつある。

令和2年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ コロナ禍で百貨店やアパレル業界が悪い為、前年より仕事量は減り、また資材コストの上昇により収益は悪化している。

今後の課題

- ・ 技術者の高年令による人材の確保(横振など得に！若者をいかにとり入れるか)こんな時だからこそ組合として可能な限り“ものづくり文化”を育て品々で個々の企業の技術、得意分野を磨き続けることにより、桐生刺繍の素晴らしさを全国に、そして世界に発信していきたい。

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ コロナによるステイホーム生活により生活環境への関心が高まり、インテリア商戦はそれなりに流通したが、外出を控えることで衣料は不調であった。

令和2年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 昨年は新型コロナウイルスの影響をものにかぶった1年であったが、インテリアは秋以降状況が安定してきた。衣料品(アパレル)はビジネスモデルの再構築ということから回復にはかなりの月日がかかると思われる。

今後の課題

- ・ インテリア分野は家具量販大手が50%以上のシェアをしめる現状で、どのような商品開発を進めるかが問われる年になる。設備投資も含めて戦略的な考え、行動が求められる。

桐生紋紙組合

令和2年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ コロナ禍で業界が停滞したことにより、新柄の開発依頼等の減少が大きく響いた状況。

今後の課題

- ・ 従事者の減少。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 巣ごもり需要に関連した商品アイテムは、順調に売上げを確保できていると思われます。一方、イベント関連商品は、明らかに減少しています。

令和2年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 上記の消費者ニーズの変化により、好不調の業種が分かれていると思われます。

今後の課題

- ・ コロナ禍からの脱却が業界に限らず、最も重要な事柄です。
巣ごもり商品、マスク等好調な商品もコロナ後の対策が必要だと思えます。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 外出ウエアを中心に扱うデパートの売り上げは、ますます減ってきた。他方で巣ごもり需要を反映してハウスウエアの需要は増加している。
緊急事態宣言のもと外出の機会が減り、アウターウエアを着る機会も減ってしまった。当然旅行は避けられている状況にあるため旅行用品需要も減っている。反面サスティナブルの考え方が根付いてきているので、再生繊維を使用した洋服が注目されてきた。

令和2年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ コロナウィルスの国内への伝播が1年で蔓延することは、誰も想像をしていなかった。ウィルスの対応はしたが、抑え込むことはできない状況となり事業活動は収縮していった。
5月くらいまでは、約定はあったが、引き取りの遅れや、キャンセルが起こった。その後パーティー、イベントの中止が相次ぎ需要が激減していった。

今後の課題

- ・ 暗中模索の状態。コロナウィルスが終息し消費ムードが盛り上がるのを待つ。
各個人の努力だけでなくTPS展などを積極的に活用し情報は発信し続ける。そのためにも、より強い行政の後押しが望まれる。同時に商品の開発は、各社で続けていく必要がある。

以 上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	小林 雅子	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	塚本 幸司	桐生市堤町1-7-9 塚本染色(名)内	22-7771
桐生商工会議所 繊維部会	柳 明彦	桐生市錦町3-1-25	45-1201
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)	岡部 利明	桐生市永楽町6-6	46-8118
桐生糸商組合	川村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株)内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	村田 欽也	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	黒澤 昇	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生紋紙組合	周東 直樹	桐生市広沢町5-1675-1 (有)周東紋切所内	54-1949
東毛ジャカード刺繍協同組合	西村 千春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和田 貞之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	泉 太郎	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
起龍	丸山 裕	桐生市東7-1-8 ミツミテニー(株)内	44-3027

事務局 公益財団法人桐生地域地場産業振興センター 内

〒376-0024 桐生市織姫町2-5

電話 (0277) 46-1011

FAX (0277) 40-1300